

人文科学コースとは

人文科学とは、人間そして人間が残してきた歴史や文化を探究しようとする学問です。その研究対象は多岐にわたり、様々な方法を駆使して研究が行われています。

人文社会科学科の人文科学コースには、5つのプログラムがあり、それぞれのプログラムで人文科学の専門知識や研究法を体系的に学んでいきます。「哲学・思想プログラム」では、西洋哲学・倫理学・宗教学などを学ぶことができ、人間について深く問いかけます。「心理学プログラム」では、認知心理学・社会心理学・感情心理学などを学び、人間を実証的に研究する方法を学びます。「歴史・地理学プログラム」では、史資料によって、日本・東洋・西洋の古代から近世にわたる歴史を検討します。また、考古学や地理学では現地調査も重要な研究法となっています。「日本語・日本文学プログラム」では、古代から近代にいたる日本の文学や言葉を、文献資料を読み解きながら考えていきます。「英米文学プログラム」では、イギリス文学やアメリカ文学の作品の熟読を通じて、人間や文化・社会について考察します。

学問分野によってそれぞれに研究のやり方があります。いずれのプログラムもそれを系統的に学んでいくための授業が準備されており、自身が最も学びたいと考える1つのプログラムを選択し、そのような力をじっくりと身につけていくことができます。また、人間についてより深く考えるために哲学・思想と心理学、文学作品や作家について時代や地理的背景を踏まえて考えるために日本語・日本文学や英米文学と歴史・地理学というように、2つ以上のプログラムにまたがって履修することも可能です。

このように人文科学の「知」に深く沈潜しながら、あるいは幅広く触れながら、人文科学を学ぶことに通じて、物事を多面的に見る目を養い、状況を的確に把握する力を身につけます。さらに問題を批判的に考え、創造的な発想によって解決に導く力もついてくるでしょう。

現在、社会は急激に変化し、それに伴う問題が多く発生しています。このようななかで、高い問題意識を持ち、解決しなければならない問題に対処するとき、人文科学コースで培われた上記のような能力がきっと役に立ってくれるものと思います。

哲学・思想プログラム

【プログラムの概要】

歴史に現われた主要な哲学者や宗教家の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探究します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の力を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拡げていきます。

【学べる専門領域】

西洋近現代哲学～17世紀以降の西洋近現代哲学を哲学史的観点から学びます。

西洋人間論～西洋文明の深い理解を通して人間とは何かを学びます。

倫理思想史～古代から現代にいたる西洋の倫理説を学びます。

基礎倫理学～現代の倫理的問題を具体的事例の考察を通して学びます。

宗教思想論～宗教思想のさまざまな類型の理解を通して宗教の実相を学びます。

宗教哲学～神話を含めた古今東西の宗教哲学を歴史的・網羅的に学びます。

角 忍（哲学）

【教員自己紹介】

最も狭い専門領域はヨーロッパの近現代思想、なかでもカントとハイデガーの哲学。宗教（キリスト教）をも含めて西洋思想一般を、人間観と世界観との関係を中心に研究しています。東洋思想やイスラム思想にも関心が向い、近年は比較文明論の視点を取りいれて、西洋の有神論的哲学と仏教を代表とする非西洋哲学との比較研究を行っています。

【主な授業題目と内容紹介】

「哲学を考える」（共通教育）：人間はどうして哲学的な問いを発するのかを見たうえで、西洋哲学の基本性格を明らかにし、さらに西洋哲学の伝統的テーマに即して西洋における人間観・世界観の特徴を見ていく。

「哲学と科学」：科学的な思考・方法・理論についての解明を行う科学論。科学史と科学哲学という二つの観点からアプローチする。

「哲学概論」：西洋哲学の本質を、有論（ontology）と神論（theology）という二重構造をもつ形而上学（meta-physics）として解明する。

「西洋人間論」：西洋の伝統的人間観（古代ギリシ哲学にもとづく哲学的人間観とキリスト教的人間観）を見たうえで、近代以後に出てきた自然科学的な人間の見方の意味を考える。

「西洋近代思想論」：西洋の近代思想の展開をたどり、「近代」というものの意味を再考する。

「思想論基礎演習」（オムニバス）：比較文明論に関するテキストに即して、文献読解の基礎訓練を行う。

「西洋近代思想演習」：文化・文明の基礎にある人間観、世界観の異質性について理解を深める。

【卒業論文題目例】

卒論のテーマは、四つの系統に分類できます。1. 比較文明論、2. 日本文化論、3. 仏教思想、4. 宗教を含めた西洋思想。

「アメリカにおけるユダヤ・キリスト教的価値観の役割と影響」

「イスラーム復興－イスラームと国際社会との共存を考える」

「戦争と正義についての考察」

「日本人の宗教意識」

「武士道－その変遷と今日性について」

「般若経における空の思想について」

「「純粹理性の二律背反」におけるカントの自由論」

「ショーペンハウアーの芸術観」

「ニーチェにおけるニヒリズムの克服」

「[ハイデガー]「有と時」－いま・ここに・あるということの不思議」

武藤 整司（倫理学）

【教員自己紹介】

第一の課題は、デカルトを中心に据えた西洋近世哲学史の総合的研究です。第二の課題は、倫理学の諸問題を「人間性」をめぐる問題と捉えて、できる限り具体的に思索することです。第三の課題は、生涯学習に関する課題を学問論の文脈につなぐことです。最近では、日本映画の分析を通して、戦後の日本人の倫理観の変遷について思索しています。さらに、居場所論の文脈から人間本来の生き方とは何かを研究しています。

【主な授業題目と内容紹介】

「倫理を考える」（共通教育）：受講生が、重要な倫理問題について、基礎的な知識を獲得ながら自分で考える習慣をしっかりと身につけることを目標とする。

「核時代の倫理」（共通教育）：受講生が、エネルギー問題の幅広い理解を前提として、核兵器や原発の問題を、歴史的な観点・現状の把握・未来への展望などを通して深く思索できるようになることを目標とする。

「倫理学概論」：Ⅰでは、倫理学における主要な概念（正義・義務・権利・自由・愛・幸福など）を吟味・検討する。Ⅱでは、応用倫理学（生命倫理学・環境倫理学・情報倫理学などを扱う）の諸問題を具体的に模索する。

「倫理思想史」：古代から現代に至る、西洋の思想家の倫理説を、歴史的に概観する。

「基礎倫理学」：現代日本の倫理問題を、具体的事例を通して理解・検討する。

「思想論基礎演習」（オムニバス）：良質な古典や現代の論考を読み解く技術を修得する。

「倫理学演習」：歴史上に現われた定評ある哲学書（とくに倫理を扱っている書物）の購読を通して、倫理に関わるさまざまな問題を参加者同士で議論する。

【卒業論文題目例】

ふたつの系列があります。ひとつは「作品論」で、定評ある哲学書や文学書などの内在的研究を目指します。もうひとつは「現代批判」で、主として社会問題や倫理問題をめぐる主体的な考察を目指します。

「パウロにおける愛の概念について」

「生きる時間 ―セネカ『人生の短かさについて』をめぐって―」

「マキアヴェリにおけるヴィルトゥとフォルトゥナ」

「デカルトにおける想像と感覚」

「ルソーの人間観」

「童話的世界における死生観について」

「マスメディアとジェンダー ―テレビからのメッセージ―」

「性差と性差別に関する倫理的考察」

「虚構の「正義」 ―日本の死刑制度を考える―」

「動物愛護における人間の責任」

安藤 恵崇（宗教学）

【教員自己紹介】

宗教学・宗教思想、近現代哲学を研究分野としています。哲学的分野としては、主にフランスの哲学者ベルクソンの哲学が宗教哲学へと向かっていった過程とその広がりを研究してきました。また日本の哲学者、西田幾多郎の哲学にも興味を持っています。そこでは哲学的宇宙論も問題になります。また宗教学として、あらゆる宗教を統合的に理解しうる視点の探求を考えています。仏教の専門家ではありませんが、近年仏教への興味が深くなりました。

【主な授業題目と内容紹介】

「神話と儀礼」（共通教育）：世界の神話の多様性をながめ、かつて神話が人間にとって文化の伝承の核であったことを考察します。また宇宙創造神話や死の起源神話、また宇宙軸（宇宙樹）といった世界に普遍的に見られるテーマに注目しながら神話の世界的広がりを講義しています。

「世界史の中の宗教」（共通教育）：宗教の歴史的展開と地理的広がりを見ることで世界の宗教を1学期で概観することを目指しています。古代オリエントの宗教から始まり、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、そしてインド起源の諸宗教、東アジアの伝統宗教といった順で見えていきます。

「宗教学概論」：Ⅰでは、宗教学が宗教を問題にしようとするとき、どのような問題がありどのような視点が可能なのかを歴史的事情をまじえて見ることから始めます。そして宗教の諸類型を見て、さらに世界の諸宗教を概観します。Ⅱでは、まず宗教学の形成過程とそれが含む諸分野の関係についてあつかいます。そして西洋哲学史を軸にしながら、宗教思想の歴史を概観します。最後に宗教研究が心理学と関係をもったウィリアム・ジェイムズやフロイト、ユングについて思想的観点から概説します。

「宗教思想論」：思想的側面から諸宗教の類型を考え、さまざまな宗教を統合的に理解する構図の探求について講義しています。

「比較東洋思想論」：インド起源の諸宗教の思想と歴史を概観し、大乘仏教の流れをその中期の「如来蔵思想」というものへとたどっています。

「思想論基礎演習」（オムニバス）：思想的に物を読む仕方について考えます。

「宗教論演習」：1学期はベルクソン『道徳と宗教の二源泉』第一章を読みます。2学期はエリアーデ著作集第2巻『豊饒と再生』の最後を読みます。

【卒業論文題目例】

「月のシンボリズム」 「グリム童話に隠された宗教」

「マイスター・エックハルトの思想に関する一考察」

「ギリシア神話の時間論」 「レンブラントにおけるリアリズムと聖性」

「ベルクソン『道徳と宗教の二源泉』の考察 -社会と個人-」

心理学プログラム

【プログラムの概要】

心理学は「心」を科学的な方法で客観的なデータとし説明する学問です。また、分かったことを実際の場面で適用する学問です。このように「心」を調べる実験系の心理学と実際の場面で適用する非実験系の心理学があります。このプログラムは実験系の心理学が中心ですが、非実験系の臨床心理学に関する授業も開講しており、受講可能です。心理学を学ぶ際には、実験や調査の方法を学ぶ必要があります。また、他の学問分野同様、心理学も研究領域が大変に細分化しています。これらの心理学の基礎から様々な領域での学びを積み上げることで認定心理士の資格取得が可能です。

【学べる専門領域】

認知心理学～見ること、憶えること、考えること。このような認知過程を学びます。

社会心理学～社会の中の個人、対人関係、集団とメンバーの関係、集合行動を学びます。

感情心理学～感情全般に関する諸理論と個別の感情について学びます。

池田 和夫（認知心理学）

【教員自己紹介】

「見る」ということを通じて、人間は自分の周りの状況がどのようになっているかを絶えずモニターしています。この作業は当たり前で簡単なことのように思われます。しかしこの時、眼だけでなく脳の多くの領域が非常に複雑な活動しているのです。また脳は記憶や判断なども行っています。人間のこのような認知過程について研究しているのが「認知心理学」です。認知心理学では、脳を直接調べるのではなく、実験を通じて脳がどのような働き方をしているのかを考えていきます。私はこの分野で卒業論文を書こうとする人の指導をしています。

【主な担当授業と目的】

心理学を学ぶ 心理学に初めて触れる人に、心理学のさまざまな分野の発見をビデオや実験も交えて講義している。

心理学実験法基礎演習 心理学をどうやって研究するのか。その方法を、研究テーマの見つけ方からデータの分析法まで担当している。

心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 基礎的な心理学実験から始まり、様々な形の実験法や調査法を身につけていく。そして、与えられた実験を行う段階から、自分で計画した実験をする段階に発展していく。

認知心理学 人間の認知に関して蓄積されてきた研究を紹介する。また、認知がどのように脳と関係しているかについても論考する。

認知心理学演習 毎週、認知に関する研究論文を読み、最新の研究に接する。またディスカッションを通じて、その研究の意義や問題点などについて考える。

【卒業論文題目例】

- ・空間記憶による方向判断に方向特異性が及ぼす効果
- ・感情プライミングが印象形成に及ぼす影響
- ・パターン図形の情報処理負荷量が評定に与える影響
- ・先行課題における処理様式が直後の情報処理に与える影響
- ・聴覚刺激が視覚的ワーキングメモリに及ぼす影響
- ・顔刺激における表情の多様性が単純接触効果に及ぼす影響
- ・動作が情動的記憶の再生に及ぼす効果についての検討
- ・漢字の親密度が注意の瞬きに与える影響
- ・複数の顔刺激が視線キューイング効果に与える影響
- ・顔の示差性に関する実証的検討 ～反応時間を尺度とした示差性の操作的定義～

増田 匡裕（社会心理学）

【教員自己紹介】

社会心理学は、他の人と一緒に暮らしている世の中で、そもそも自分や他の人は何を考えてどんなふるまいをするのだろうかということを説明しようとする、現実社会との接点を常に意識した心理学です。しかし、直ぐに役立つ心理学という訳にはいきません。もどかしさに我慢しているうちに、ある日突破口が広がるのが研究の楽しみです。私の主な研究テーマは2つあり、ひとつは赤ちゃんや子どもを亡くした家族や医療従事者を支援する心のケアのコミュニケーションですが、これについては大学の授業ではほとんど触れませんし、卒論のテーマとしても許可することは絶対にありません。それは現場への心理学の還元というのはそう甘いものではないからです。

心のケアに取り組む専門的な職業を目指す人には、今はもっと基本的なことを考えてもらいたいというメッセージを込めて授業をしています。もうひとつの研究の柱は、友人関係や恋愛関係などの親しい対人関係がどのように作られて、どのように保たれて、どのように壊れていくのか、その一連の流れを調べることです。こちらの方は、いくつかの授業科目で扱いますし、これまでもほぼ毎年卒論生の誰かが研究しています。

【主な担当科目と目的】

対人コミュニケーション論を学ぶ 全学対象の共通教育の授業で、1年次から履修できます。

心理学をベースに、言語学や社会学の知識を加えて、人へのメッセージの伝え方や他の人との関わり方を考える対人コミュニケーション論の重要なトピックを紹介します。
社会心理学 2年次配当の専門科目です。現代の社会心理学の基礎となる重要な研究テーマを紹介します。一般向けビジネス書などで紹介されることの多い古典的な理論については「人間関係論／社会心理学入門」という別の講義科目を用意しています。

社会心理学演習 3年次配当の専門演習です。第1学期は恋愛関係や友人関係のコミュニケーションに関する英語の文献を徹底的に読みます。第2学期には、最終年度に社会心理学で卒論を書く受講生が、それぞれの興味に応じた英語の文献を持ち寄ります。

【卒業論文題目例】

- ・大学生のサークル集団におけるリーダーシップ行動と組織コミットメントの関係—リーダーの自己犠牲的行動の要因の検討—
- ・失恋後の態度および感情—復縁動機と未練の検討—
- ・投資モデルを用いた同性及び異性の友人との関係の比較
- ・恋愛関係における関係維持の要因が嫉妬感情への対処行動に与える影響
- ・メッセージの送り手の信頼性と情報呈示方法が広告対象に対する印象形成に与える・影響
- ・SNS上でのCMCと対面状況におけるソーシャル・サポートへの評価に影響を及ぼす要因
- ・社会的排斥後のソーシャル・サポートが対人信頼感、被受容感に及ぼす影響

日比野 桂（感情心理学）

【教員自己紹介】

感情心理学，その中でも「対人関係における怒り」を専門に研究しています。もちろん，怒り以外の様々な感情（嫉妬・不安・嫌悪・あがり・喜び等）も研究対象です。感情を感じることは出来ても，その感情がどのようなものを言葉で表そうとしたらとても難しいことだと分かります。言葉にするのも難しいのに，研究するのはなおさらです。でも曖昧で複雑であるからこそ，難しさの中に面白さが存在していると思います。授業や卒業論文では，個別の感情だけではなく，感情全般や感情を伴う行動なども幅広く扱っています。

【主な担当授業と目的】

心理学を学ぶ 心理学入門編。心理学の基礎意識と心理学と日常の関わりを取り上げる。

時々簡単な心理学実験の体験をする。心理学の難しさと面白さを感じてもらえれば。
心理学研究法基礎演習 心理学で研究するための知識・理論を説明する。「知る」ではなく「研究する」ためには必須の知識ばかり。

心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 理論だけでは研究できない。実践から学ぶ授業。毎回，心理学実験を実体験する。研究方法，結果の処理方法，レポートの書き方を学ぶ。

感情心理学 感情に関する心理学的な知識を取り上げる。感情全般だけではなく嫉妬などの個別の感情についても説明する。感情を理論的に捉える難しさが分かる。

感情心理学演習 感情の研究論文を読んで，問題点などを議論したり，関係する事柄をまとめて図にしたりする。毎週最低1本は論文を読む。卒論の前段階。

【卒業論文題目例】（題目の最後に研究方法が調査なのか実験なのかを示しています）

- ・癒しの構造と効果の検討ー私たちは何に癒されているのかー（実験）
- ・痩身願望が食選択に与える影響（実験）
- ・会話場面で視線をそらされることの不安と親密度の関連（実験）
- ・思考と目標設定がパフォーマンスに与える影響（実験）
- ・スピーチ不安と状況的・気質的要因との関連ー自己呈示理論と社会的インパクト理論からー（実験）
- ・依頼の負担度と表現が被依頼者に与える影響ー感情・認知・依頼後の友人関係の側面からー（調査）
- ・劣等感に影響を与える他者の反応ー自己向上を促すにはー（調査）
- ・ひとりの時間がもたらす機能と感情の変化ー能動受動とひとりでのいる能力の影響ー（調査）
- ・課題達成場面における喜び感情（調査）
- ・楽観・悲観思考が感情と行動に与える影響（調査）

歴史・地理学プログラム

【プログラムの概要】

歴史学では、さまざまな史資料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究にとりくみます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」にとりくみます。

【学べる専門領域】

日本中世史…鎌倉期～織豊期の政治・社会を史料に基づいて考える研究

日本近世史…日本近世（主に江戸時代）の政治・経済・社会・対外関係などの歴史研究

日本近代史…明治からアジア・太平洋戦争期、占領期の政治や社会に関する研究

考古学…地中から取り出したモノを資料に人間の文化や社会を再構成する研究

東洋古代中世史…戦国秦漢時代を中心とする中国古代の社会、制度、文化についての研究

東洋近世近代史…主に明清代～中華民国期までの歴史を海外交流の観点も入れて探る研究

西洋史…西洋の歴史／西洋と世界各地の地域・社会との関係を世界史的観点から探る研究

人文地理学…日本の産業・社会・文化に関する地理学的なテーマを現地調査によって研究

自然地理学…人間と自然環境の関係（認識論，利用，保護，民俗など）の研究

津野 倫明（日本中世史）

【教員自己紹介】

日本中世史とくに戦国～織豊期の政治史を研究しています。主要な研究テーマは豊臣政権の朝鮮出兵（文禄の役・慶長の役）と土佐の大名長宗我部氏です。主な論文・著書は次のとおりです。

『長宗我部氏の研究』（吉川弘文館、2012 年）

『長宗我部元親と四国』（吉川弘文館、2014 年）

「朝鮮出兵の原因・目的・影響に関する覚書」2014 年

「「在高麗奉公人」に関する豊臣秀吉朱印状の年代比定」2015 年

「従軍記（文禄の役・慶長の役）―『朝鮮日々記』（慶念）」2015 年

【主な授業題目と内容紹介】

「歴史を考える―戦国末期の四国と織豊政権―」：共通教育科目。戦国末期の長宗我部氏による四国制覇の状況と織田・豊臣政権との関係について考える。

「日本中世史基礎演習」：専門科目。戦国大名が制定した分国法をテキストとし、史料の解釈に必要な「調べ」の方法を学ぶ。

「日本中世社会史」：専門科目。朝鮮出兵における諸大名の動向とその国内政治や領国経営への影響について、史料（文書・日記など）にもとづき考える。

「日本中世史演習」：専門科目。『信長公記』をテキストとし、記事に関連する史料や諸研究（学術論文・学術書）について受講者が報告する。これを通して、日本中世史研究に必要な知識や技能を学ぶ。

「卒業論文」：専門科目。卒業論文のテーマにそくした指導をする。テーマの選択は、原則として日本中世史（日本近世史の初期も含む）に関するものであれば、各自の判断にゆだねている。授業だけでなく日々の読書なども通じて、魅力あるテーマを模索してください。

【卒業論文題目例】

「伊勢北畠氏に関する一考察」

「甲越同盟再考」

「織田政権の検使」

「豊臣期における海賊禁止政策」

「織田氏の寺内町特権への政策」

「織田信長への鷹贈与」

「王権篡奪説と「日本国王」」

【入学前に古典・漢文の学習を！】

大学における日本中世史の学びには史料解釈が不可欠です。その重要な前提となるのは、古典文法や漢文訓読に関する基礎的知識です。入学前に「国語」をしっかりと学習しておくようにしてください。「日本史」は得意だったけど、「国語」は苦手だったという学生は入学後かなりの努力が必要となります。もちろん、「日本史」についてはちょっと背伸びするくらいのつもりで、新書などの一般書を読んでみてください。

荻 慎一郎（日本近世史）

【教員自己紹介】

日本近世史専攻。江戸時代の社会史や社会経済史を中心に研究しています。

これまで、東北地方をフィールドとする研究では、近世中期の藩政改革（米沢藩）、農村社会（米沢藩領・秋田藩領）、鉱山社会（秋田藩領・盛岡藩領）など。四国の土佐藩領をフィールドとする研究では、藩社会の問題（藩境や一揆・情報、庶民教育や文化）や農村・浦・城下町の各社会の諸問題を、藩政史料や郷土・城下町庄屋・浦庄屋・職人・僧侶等の関係文書を使って究明しています。また、九州をフィールドとする研究では、鉱山社会史研究として対馬藩領に加えて薩摩藩領を手がけています。

【主な授業と内容紹介】

日本近世史演習：日本近世史料の解読と分析、史料に基づく問題設定や論文・文献探索など、近世史研究の方法を習得します。

日本近世社会史：日本近世社会史に関する諸問題や研究を講義します。

日本史概論：日本史を概説します。特に日本近世の政治・経済・対外関係などを論じます。

日本文化史：日本近世文化史を担当。年中行事や人生儀礼、労働と生活、教育など、主として民衆の生活文化史について講義します。

このほかに、共通教育や日本近世史基礎演習などを担当しています。

【史料の調査収集と研究方法】

日本史の研究は、史料に基づき進められます。このため史料の探索や調査収集が大事となります。料理にたとえていえば、研究論文は完成された料理です。料理の材料に相当するのが史料です。料理が材料の善し悪しに左右されるのと同じように、研究でもこれがいえます。しかし、料理でも調理法やどのような料理をつくりたいかの志がないと材料も活かされません。優れた論文を読むこと（美味しい料理を味わい、調理法を学ぶ）や講義・演習で学ぶことも大切ですが、研究ではどのようなことに関心を持ち、問題を設定するかはいわば思想の問題でもあり、自らが普段から社会に対して広い関心を持ち、高めることも大事です。

【卒業論文と題目例】

卒業論文は学生生活を総括するもので、準備を含めると一年以上をかけて創り上げる作品（自分の料理）です。過去の日本近世史の卒業論文の一部を挙げておきます。「土佐藩における地狂言と地域社会」、「土佐藩における藩祖神格化の動向」、「安政大地震と地域社会」、「土佐藩の鳴物停止令について」、「土佐藩における廻船・市艇」、「近世の『善行』者とその表彰」、「幕末一僧侶の蔵書目録と書物に関する一考察」。

小 幡 尚 （日本近代史）

【教員自己紹介】

これまで、昭和戦前期を対象として、裁判制度、行刑、刑事・治安法制などについて研究してきました。

現在は、高知県を主な対象として、軍・戦争が地域に与えた影響や地域の対応について考えています。とくに、日清戦争期からアジア・太平洋戦争期の戦没者（戦争で亡くなった兵士）が地域においてどのように弔われたのか — どのような葬儀が行なわれ、どのように埋葬され、どのように顕彰されたのか — について調査と研究を続けています。

※第 34 番札所種間寺（高知市春野町）の →
境内にある日清戦争の戦病死者を讃える碑



【主な授業題目と内容紹介】

「歴史を考える」：（共通教育科目）「日本近代史における『大量死』」をテーマに、広島・長崎の原爆被害や東京大空襲などについて詳しく論じます。

「日本近代史演習」：日本近代史に関する基礎的な文献（昭和戦前期の政治・外交を扱ったもの）を参加者全員で読解し、議論します。4 年生には卒業論文の構想を報告してもらい、みんなで検討します。

「日本史概論」：アジア・太平洋戦争敗戦の経緯について確認した後、占領期 — 連合国によって占領されていた時期 — の政治と社会の動向について講じます。また、この時期の動向が現在に与えている影響についても考えます。

「日本近現代史」：日清戦争について講じています。開戦にいたる政治と外交、戦争の諸相、講話と戦後経営に加え、戦争が地域 — とくに四国・高知 — の社会にどのような影響を与えたかについても検討しています。

※共通教育のオムニバス講義「福島原発事故を考える」にも参加しています。

【卒業論文題目例】

※一般に日本近代史では、明治維新から連合国による占領の終結くらいまでの時期を扱います。卒論の執筆には、これまでの諸研究を正確に理解する読解力、文献史料（公文書、政治家の日記、新聞・雑誌など）を読む技術・能力が求められます。

「岡山における土族授産事業の展開」 「太平洋戦争下における幼児の防空対策」

「高知県における満州移民運動」 「昭和戦前期における軍人の国葬」

「明治後期・大正期の佐賀における行啓」 「四国線敷設運動について」

「昭和戦前期の高知県における公娼制度廃止問題」

「昭和戦前期の福山市における地域住民組織」

宮里 修（考古学）

【教員自己紹介】

弥生時代を中心に高知県の歴史を研究しています。高知県の地理的環境はたいへん特徴的で、農耕の始まり、独自の地域文化の形成、古墳なき古墳時代の始まりにおいては、他にはない地域固有の歴史であります。それは同時に日本の歴史のまた別の側面が表しています。また私が継続して続けている朝鮮半島の考古学の成果とあわせて、幅広い視野から地域の歴史を紡いでいきます。

【主な授業題目と内容紹介】

「考古学概論」考古学の成り立ち、特徴、方法、関心事など、考古学とは何かについて講義します。

「考古学」高知県の遺跡を素材に、考古学からみた日本の歴史を概説します。

「イネと青銅と鉄の伝来」日本の文化・社会に大きな転換をもたらしたイネと青銅と鉄の伝来（弥生文化）について解説します。

「考古学実習」遺跡の調査と報告・研究に必要な技術や知識（測量機器の扱いや作図の方法、出土遺物の見方など）を実地作業により学びます。

「考古学演習」休業期間中に実施する発掘調査に必要な、環境考古学や空間分析について関連文献を講読します。また、各自の研究テーマについて発表し議論します。

【卒業論文題目例】

阿波地域における弥生土器の地域性

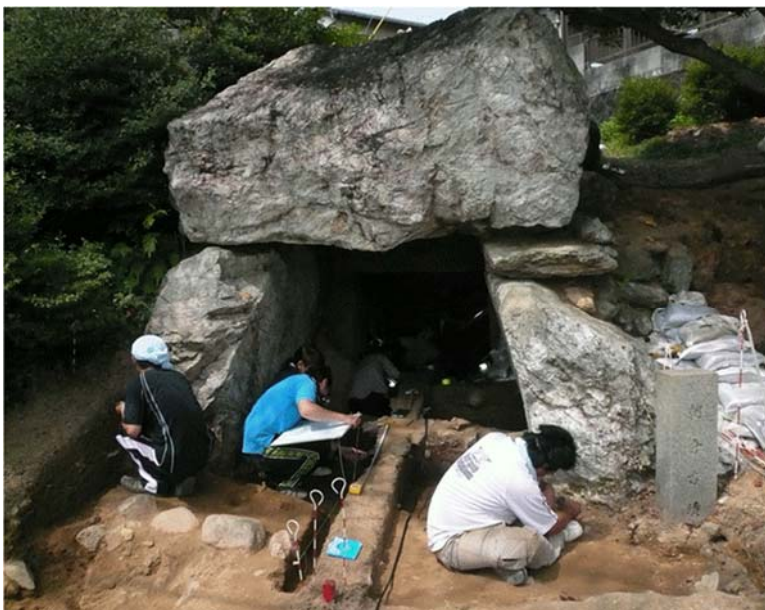
高知県出土青銅器に関する一考察

丹後・但馬における弥生時代後期の葬送儀礼

井辺八幡山古墳の人物埴輪

古墳時代における鉄釘の研究

古墳時代中・後期における刀の構造



大楠 敦弘（東洋古代中世史）

【教員自己紹介】

中国古代史、とくに戦国秦漢時代を中心に研究をしています。主要な研究テーマは「秦漢統一国家体制の形成と展開」で、各地域に集権国家として出現した戦国諸国が統合され、統一国家として成熟し展開してゆく過程がどのように理解されるのか——について考えてゆくことを通じて、この時代のさまざまな側面をより明らかにしてゆきたいと思っています。このほかに木簡や竹簡などの出土文字資料の研究や、この時代の社会史、生活史などの研究も並行して進めています。

【主な授業題目と内容紹介】

「もしも、古代の中国で暮らしたら」（共通教育）：生活史を中心とした入門的講義です。

このほかに「『史記』の中国古代史」、「『名場面』より見る中国古代史」など。

「東洋古代中世史基礎演習」（専門）：やや専門的な授業です。さまざまな史料を材料とした中国古代史研究の基礎を紹介します。

「東洋古代中世史」（専門）：専門的な授業です。「車の中国古代史」、「中国古代の三面記事」、「『空間構造』から見る中国古代」、「前漢の首都・長安」など。

「アジア文化史」（専門）：「近年の考古遺物」、「『諸子百家』の中国古代史」、「画像資料の世界」など。

「東洋古代中世史演習」（専門）：実際に史料を扱う授業です。『芸文類聚』酒、将軍、諷、遊侠、美婦人、馬、などの記事を読みながら、漢文読解力などを養成します。



大学で学ぶ歴史学は、単に過去の出来事を暗記してゆくだけのものではありません。自分の興味に応じて色々と調べてゆくことで、思いがけない「発見」があったり、それまでとは違う理解の仕方に気がついたりするなど、そんな楽しさをもった学問です。皆さんがこうした歴史学の「醍醐味」にふれてゆくお手伝いが少しでもできたら、と思っています。

【卒業論文題目例】

春秋時代における権力構造の変容——『左伝』の出奔記事を通じて

『山海経』にみえる異獣たち

『史記』留侯世家の史料性格

秦漢時代における私印に関する一考察

脚色の『三国志』——死の場面からみる『三国志演義』

中国古代の簪——服飾規定を中心に

唐代の化粧——“梅化粧”からみる唐代婦人の化粧の一考察

宋代の民間医療

中国古代の猫に関する一考察

吉尾 寛（東洋近世近代史）

【教員自己紹介】（いまの研究上の関心事）

- ① 中国民衆運動の史実集積と動態分析
- ② 明清時代の地方史料よりみた台湾における海流の認知の歴史—黒潮を中心に—
- ③ 土佐からみえる近代の中国と日本の交流（変法派知識人の書簡の復元を通して）
- ④ 内藤湖南の中国文化史論と同時代の中国
- ⑤ 王朝財政と会計—電算処理を手法とした明代の会計数値の読解—
（その他）

河南大学 黄河文明持続発展研究センター（海外招聘研究員）、安徽大学歴史系（兼職教授）

【卒業論文題目例】

【明・清時代〈主にアヘン戦争以前〉／同時期の台湾】

- ・『明実録』にみえる「民奏」について
- ・「官僚の“交章” 行為から見た明代政治問題—科道官体系の成立過程を通して—」
- ・明代塩政における「綱法」についての一考察
- ・「明代北辺における板升について—板升形成地に基づく「半農半牧」と衰退への一考察—」
- ・「祝允明と『志怪録』—明代江南社会についての一考察—」
- ・『志怪録』から読み取れる明代の民衆の精神世界
- ・「中国近世における扶鸞の思想に関する一考察—救劫・末劫思想との関連に論及して—」
- ・『明史稿』列女伝と明代史の諸問題との関係性について
- ・『亡室沈安人伝』から見る女性とその教養についての一考察
- ・「明代の文人画家、沈周に関する一考察」
- ・「文人画家董其昌における官僚としての一側面」
- ・「明の遺民画家 八大山人の『狂疾』問題」
- ・「明清時代の東シナ海を中心とした国際秩序についての近年の視点」

【近代：清・アヘン戦争～辛亥革命・中華民国成立～五四運動以前／同時期の台湾】

- ・「19世紀清朝におけるアヘン吸飲の構造的拡大とイギリスの論説」
- ・「乾隆年間から道光年間にかけての台湾鹿港の商業活動」
- ・「日治時代台湾における製糖業の展開と鉄道敷設」
- ・梁啓超における『合群之徳』について—『十種徳性相反相成義』を踏まえて—
- ・「清末天津における消防組織」
- ・「孫文の鉄道計画をめぐる諸問題」
- ・「辛亥革命における女子軍の創出と活動」

【現代：五四運動～中華人民共和国成立～現在／同時期の台湾】

- ・「中国近現代史におけるミッションスクールの役割」
- ・『梅津・何応欽協定』前後における中国国民政府の華北政治—
- ・「カリスマとしての毛沢東—延安整風運動を中心に—」

（参考：修士論文）

- ・「〈沿岸港〉としての鹿港の盛衰」
- ・「明代万暦年間における塩法改革と商人—袁世振の改革原案を中心に—」

川本 真浩（西洋史）

【教員自己紹介】

西洋史学を担当していますが、自分自身はもっぱら近現代史、より具体的には19～20世紀のイギリス、イギリス帝国、コモンウェルス（英連邦）の歴史に関心があります。イギリスで開催された博覧会やパジェント（野外歴史劇）、あるいは各地で開催されているコモンウェルス・ゲームズ（発足時はエンパイア・ゲームズ）などに焦点をあわせて研究しています。いずれの場合もイギリスと帝国・植民地とのあいだのヒト・モノ・情報の流れが世界各地に及ぼした影響をグローバルな歴史の文脈のなかで考えることを意識しています。

【主な担当授業】

「歴史を考える」（共通教育）主にイギリス史のトピックをとりあげて歴史学の基本となる手法、見方、考え方について講義します。

「課題探究実践セミナー」（共通教育）私が担当する授業の副題は「ラジオについて考えよう／ラジオドキュメンタリーをつくろう」です！

「西洋史概論」：近世・近代史を中心に西洋史を概説します。

「西洋社会史」「西洋文化史」：イギリス近現代史を題材にした専門性の高い内容です。

「西洋社会史演習」：日本語および英語の学術文献を使って、西洋史研究にとりくむための専門的な技術や知識を習得し、実践力を養います。

【卒業論文題目例】

イギリスの家事使用人と雇用主	イギリスにおける私掠の衰退
タイムズ紙にみる「フリーガン」	第一次世界大戦時のイギリスにおける女性と制服
フェアトレード史再考	近代イギリスにおける児童養護

【「よくある質問」：イギリス近代史以外のテーマでも卒業論文は書けますか？】

一言で答えれば「書けます」。上記の題目例には出していませんが、実際にイギリス史以外のテーマで卒業論文を書いた先輩もいます。ただし、高校生の皆さんがイメージする「西洋史研究」とホンモノの「西洋史研究」とは全く別物である可能性が大ですから、大学入学前から「〇〇について研究するぞ！」とテーマを絞り込むよりも、まずは幅広い関心をもってさまざまなことを学び、吸収し、考えることが大切です。それが大学入学後のさらなる学びと卒業論文の研究テーマにつながっていく形が望ましい、と私は考えています。

【SOULSのページもご覧ください！】

日常的な教育活動（授業そのほか）の様子と研究活動の一端をインターネット上で紹介しています。右のQRコードから、または <http://souls.cc.kochi-u.ac.jp/?&rf=22> にアクセスしてみてください。



後藤 拓也（人文地理学）

【教員自己紹介】

1980 年代以降の「食のグローバル化」に伴い、日本の農業・農村地域がどのように変化しているのかを、アグリビジネス論・フードシステム論・ブランド化戦略といった新しい側面から研究しています。日本の代表的な食料供給県である高知県は、まさに「食のグローバル化」による影響を大きく受けている地域であり、これから高知県内の農業・農村地域の変化について研究していきたいと考えています。

このように、私自身は日本の農業・農村に関する地理学的研究を行っていますが、学生の卒業論文については、日本の産業・社会・文化に関する「地理学的なテーマ」であれば、幅広く指導することが可能です。

【主な授業題目と内容紹介】

地理学を学ぶ：大学において地理学を学ぶ上で基礎となる「地理的思考（地理的なものの見方・考え方）」を習得してもらいます。

人文地理学：日本や世界においてどのような地域問題が起きているのか、それら地域問題をどのように捉えたらよいのかを、人文地理学の視点から考えます。

人文地理学演習：地域に関する統計資料の集め方・読み方や、フィールドワーク（地域調査）の実施方法などを学び、地理学で卒業論文に取り組むための基礎的なスキルを習得してもらいます。

【人文地理学とはどんな学問か？】

人文地理学とは、様々な人間活動（経済的活動、社会的活動、文化的活動）を地域に則して考える学問分野です。人文地理学を学ぶのに必要なのは、難しい理論や特別な方法論ではなく、様々な人間活動を地域と関連づけて捉える「視点」です。言い換えれば、人間活動に関することなら何でも研究対象になってしまう「懐の深い」学問といえるでしょう。ただし、人間活動の地域的な実態を把握するには、室内の作業だけでなく、現地でのフィールドワークが必要になってきます。このフィールドワークを通じて様々な人たちと接することができるのも、人文地理学の醍醐味といえます。

【卒業論文題目例】

企業の農業参入の実態―鳥取県北栄町を事例に―

スクリーンツーリズムについて―高知フィルムコミッションを事例に―

四万十川流域の観光の展開

地域振興としての「一社一村運動」の展開―韓国から日本への普及過程―

地域資源とコミュニティツーリズムについて―大分県別府市を事例として―

景観まちづくりの展開と課題―島根県松江市を事例として―

高知県におけるシカによる食害の実態とその対策―香美市香北町を事例として―

愛媛県今治市におけるタオル製造業の変化

中国からの輸入ショウガの増加に伴う国内産地の変化と課題

―高知県四万十町を事例として―

杉谷 隆（自然地理学）

【教員自己紹介】

地理学は、「自然環境と人間生活の関係」を根元的なテーマとする、学際的な学問分野です。したがって、理学部・理学系大学院で学んで日本の自然地理学を直系で伝える人間が、高知大学では文系学部勤務しているのです。諸君にとって、それが幸か不幸かは知りませんが（笑・幸運だと思う人はついてきてくださいね）。地理学の体系について詳しくは、下記をダウンロードして読んでください。

http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/bitstream/10083/33523/1/49_13-19.pdf

【主な授業題目と内容紹介】

注記は＜地理学内部の細分野との対応＞を示します。

共通教育科目

「地誌学」＜基礎地理学，高等学校「地理 A・B」未履修者用＞

「風景と空間の科学」＜一般地理学・現代地理学＞

「空想の博物学」＜科学思想・認識論（もはや地理学ではない）＞

専門科目

「地理学基礎演習」＜地図学＞

「自然地理概論」＜自然地理学／自然史科学，応用問題の災害・資源・開発＞

「風土と文化」＜風土論／ある自然条件下での生活のありさまや思想＞

「自然地理文献講読」＜環境地理学／環境保全思想，環境運動，環境政策＞

上記の専門科目で扱ういずれかのテーマを，少人数で勉強する演習科目は，

「自然地理学演習」や「卒論指導」になります。

【卒業論文題目例】

過去に面白く論文指導したもので，他大学の卒論，大学院修士・博士論文もふくむ。

サルとヒトの共存を考える

室戸のクジラ食文化

葬送習俗「正月女」の伝承

高知県中土佐町の町づくり

フィンランド人の居住における自然環境の3つの意味

沖縄県西表島のリゾート開発と地域社会

阿蘇山麓の牧草地管理

久慈川中流域における水害防備林の地形学的立地と地域住民による保全

富士山を象徴とする自然保護活動

都市近郊の開発の進展と自然に関する住民意識

山形県長井市レインボープラン（有機農業）の取り組み

日本語・日本文学プログラム

【プログラムの概要】

古代から現代に至る、日本のさまざまな時代の文学作品を、作者の思想や時代背景なども踏まえて研究していきます。また、文法・語彙・発音など、日本語(方言も含む)そのものを対象とする日本語学の研究ができます。これらの研究を通して、それぞれの時代・場所に生きた人間の考え方、ものの見方、感じ方などを読み解くことを目指します。このプログラムで学んだことを活かして、中学・高校の教員(国語)の他、公務員や民間企業など様々な方面で活躍する人材を育成していきます。

【学べる専門領域】

日本古代文学～平安時代の和歌・物語・日記文学を中心に、古代の文学作品を学びます。
日本中世文学～院政期から室町時代の説話・軍記・随筆などの文学作品を学びます。
日本近代文学～芥川龍之介・谷崎潤一郎・夏目漱石など近代以降の文学作品を学びます。
日本語史～過去の文献資料に即して日本語の歴史を学びます。
現代日本語論～方言を含めて、語彙・文法・発音など現代日本語の諸領域を学びます。

鈴木 隆司（日本古代文学）

【教員自己紹介】

古典文学、おもに平安時代の和歌・物語・日記文学を専門に研究しています。主要な研究テーマは2つ。1つは平安時代の文学作品の成立と享受（どのように作られたのか、また作られた時代から現代に至るまでどのように読まれてきたのか）、もう1つは平安時代の文学作品における「恋愛と結婚」について（たとえば、平安時代は本当に「一夫多妻」だったのか、「恋愛」と「結婚」の境目はどのように考えられるか、そうしたことを踏まえて個々の作品をどのように読めるか、など）。なお、研究テーマにはしていますが、「恋愛と結婚」についての経験が特別に豊富なわけではありません。

【受験生へのメッセージ】

「大学で文学を勉強したい」と言ったら、「何の役に立つのか」「生きていく上で必要ない」といったことを周囲から言われたという話をよく耳にします。理系の学問は役に立つ、文系の学問は役に立たないという先入観に社会全体が取りつかれてしまっているようですが、実際には理系の学問も「生きていく上」ではほとんど必要ありません。微積分ができてできなくても、宇宙の果てがどうなっている、S T A P細胞があってもなくても、生きていく上ではほとんど関係ありません。医学は生きていく上で必要だと言われるかもしれませんが、医者にかかる患者のおそらく99%以上は、医者にかからなくても死ぬことはないか、医者にかかっても命が助からないかのいずれかでしょう。大学で学ぶ学問は、ヒトが生き物としてただ生きていく上では、ほとんど必要のないものばかりだと言えます。けれども、ヒトが人間として、(物質的な意味でも精神的な意味でも)より豊かに、より楽しく、より快適に生活していく上で役に立ったり、役に立つものを提供したりするものだとも言えます。もちろん、学んだことがどのような形で役に立つか、どれくらい目に見えて直接的に役に立つかということは、学問の内容によって様々でしょう。ただ、目の前にあることがらに対してすぐに役に立つかどうかだけにとらわれず、大学4年間をかけて、人生の中で本質的な意味で役に立つ学びをする、また、どうすればそのような学びができるのかを追求していったほしいと思っています。

【卒業論文題目例】

「月の桂」考—秋はなほ紅葉すればや—
拾遺和歌集の恋歌
伊勢物語と紀氏
七夕と織女—『落窪物語』における裁縫を中心に—
源氏物語「明石の君」論—「女の生き方」の観点から—
源氏物語「花散里」考—呼称の推移からみる人物像の変遷—
堤中納言物語「このついで」考
『枕草子』の章段配列
『蜻蛉日記』と閨怨詩
和泉式部「うかれ女」考—『日記』の解釈を中心に—

福島 尚（日本中世文学）

【教員自己紹介】

日本の中世（平安時代末の院政期～室町時代）文学について説話関連領域を中心に勉強しています。説話とは、時間的・空間的に伝承される話のことですが、これは時代の古今を問わず存在するもので、現代の噂話も説話の一種です。中世は文学史上「説話の時代」といえる時代で、様々なジャンルの文学の基盤に地下水脈のように説話伝承の世界が存在し、それが多くの作品に多大な影響を与えました。説話は、時間的・空間的に広範な広がりを持ちます。説話の伝承の有様を勉強していると、現代にも通じる、社会の中での情報の伝播や、意識・無意識の情報操作の有様なども窺えて、大変興味深いことです。説話学は情報学。説話は、諸ジャンルの地下水脈なのです。

【主な授業題目と内容紹介】

「日本文学論Ⅰ」：『平家物語』を取り上げ、その作品としての特質や、後世における享受・影響などについて言及しながら、日本文学の特徴について考察する。

「日本古典文学論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」：絵巻で有名な伴大納言説話・信貴山縁起や、『今昔物語集』の説話などを対象に、その生成と伝承のありさまを追跡し、説話の生態を考察する。
また、『方丈記』を対象にその構成・表現様式に着目した作品研究をおこなう。

「日本古典文学講読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」：変体仮名が読めるようになること、辞書や事典等を参照しながら標準的な仮名文を正確に読解できるようになることを目標に作品を講読する。

「日本中世文学演習」：日本の中世文学を読み込むための演習。ゼミナール形式。

講義課目では、日本の古典文学作品を、古典文法の教材や現代語訳の対象としてではなく、その内容・表現を味読し、その特質について考察しています。また、講読では、日本古典文学を専攻しようとする人のために、作品を辞書・事典などを参照しながら、正確に読解する能力を養うための読解演習をしています。それから、専門ゼミである日本中世文学演習では、日本中世（院政期～室町時代）の個別の作品やそれらについての研究文献にあたりながら、研究発表をしてもらっています。

【卒業論文題目例】

『今昔物語集』における説話翻訳の方法

『宇治拾遺物語』の語りの方

『方丈記』における主題と構成についての考察

『発心集』における執心と数寄について

『十訓抄』の説話の表現に関する考察

覚一本『平家物語』に描かれる知盛像の形成

『徒然草』における「色好み」

『かざしの姫君』の趣向

日藏上人蘇生譚に関する考察

昔話「米福栗福」に関する考察

田鎖 数馬（日本近代文学）

【教員自己紹介】

現在は、谷崎潤一郎と芥川龍之介を中心に研究しています。二人は、「表現」という言葉を大切にした作家です。「表現」という言葉が一般の辞書に載せられるようになったのは明治末期から大正期にかけての時期で、大正期に活躍した二人は、当時の新語である「表現」に強い関心を持ったのです。ただ、そのことがきっかけとなり、二人は論争を行うようになります。この論争の直後に芥川は自殺し、谷崎は大きなショックを受けますが、芥川が残した課題を自らの創作に活かそうと考えます。これは、ほんの一例ですが、このように、ごくありふれた何気なく使われているかに見える言葉であったとしても、その言葉の背後に、その時代に特有の意味が隠されていることもありますし、また、その言葉がきっかけとなって、時代が動き出すこともあります。そうしたことを明らかにすることは、非常に楽しい作業です。授業を通して学生の皆さんと少しでもその楽しさを共有することができればと考えています。

【主な授業題目と内容紹介】

「日本近代文学演習Ⅰ」：明治期から昭和期にいたる、都市をテーマにした種々の作品を取り上げる。当時の都市空間が作品にどのような影響を与えているのかを、その時代の資料を用いて読み解く。

「日本近代文学講読Ⅱ」：谷崎潤一郎の作品を取り上げる。母、悪魔主義、検閲、探偵小説、芥川というキーワードを軸に、様々な角度から谷崎文学を読み解いていく。

「日本近代文学論Ⅲ」：古典文学作品を典拠とした近代文学作品を取り上げ、典拠を改変することで、どのような主題を獲得していったのかを考える。

「日本近世近代文学史」：江戸初期から昭和初期までの日本文学の歴史を講義する。作家の思想や作家間の影響関係を中心に、広い視野から文学の流れを確認していく。

「文学を考える」：芥川龍之介の代表的な作品を取り上げる。作品の細部に目を凝らし、新しい読み方を探っていく。

【卒業論文題目例】

島崎藤村『破戒』論

谷崎潤一郎「異端者の悲しみ」成立考

泉鏡花「化鳥」考察——〈過去〉を尋ねる物語と〈語り手〉の関係——

モダンガールの表象にみる一九二〇年代の女性

志賀直哉「小僧の神様」論

横光利一「街の底」論

新美南吉「ごん狐」の挿絵についての考察——谷中安規を中心として——

山本 秀人（日本語史）

【教員自己紹介】

日本語学とは、言語としての日本語そのものを研究する学問分野で、文法・語法、語彙・語誌（語史）、音韻、表記・文字、表現・文体、言語文化・言語生活など多種多様の観点があります。かつては国語学とも称されました。その中で、過去の特定の時代（奈良時代、平安時代、鎌倉時代…など）を対象とする日本語学や、例えば鎌倉時代から現代までのように或る時代範囲を通して見た日本語学を担当します。いずれも日本語の文献（日本語が何らかの文字で記されたもの）を資料とする日本語学です（現代語研究も含みうる）。私自身は、平安・鎌倉時代の辞書の編纂や、漢文の訓読、漢字の訓などを中心に研究しています。

【主な授業題目と内容紹介】

「日本語の世界—五十音図をめぐって—」：五十音図の持つ意味や、五十音図がどのようにして出来たのかなどを、文字（仮名の歴史）や音韻などに関係づけて述べる。

和良与由末天字
ロウツヨモチウ
ワラヨユマテウ

「日本語学概論Ⅱ」：日本語学の研究方法や観点を、「土左日記」や「方丈記」などの過去の日本語文献を用いて具体的に学ぶ。

「日本語史（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」：（Ⅰでは）漢字、仮名、梵字（古代インド文字）、ローマ字など、日本で用いられる文字とその用途について、日本への流入時（または生成時）の使用を中心にみる。

「日本語論（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」：（Ⅱでは）現代語の音声・音韻体系を理解したうえで、奈良時代・平安時代以降の音韻史について主要な点を、それが分かる過去の文献の具体的な事例を見ながら理解して行く。

「日本語史演習」：特定の日本語資料（平安末期・鎌倉初期の仏教説話など）を取り上げて、文献を用いた日本語研究の具体的方法を、ゼミ形式で実地に学ぶ。

いずれも具体的な日本語資料を多用し、過去の日本語や、現代語に至るまでの日本語における様々な事象や研究方法を知ることを目指します。その際、抽象的な知識として知るだけでなく、具体的な事例をもって理解し説明でき、研究活動もできるようになることを目指します。

【卒業論文題目例】

『東海道中膝栗毛』における二人称代名詞について

「しりぞく」と「のく」の意味用法について — 院政・鎌倉時代を中心に —
形容詞「をかし」の意味・用法について

「マハル・マハス」と「メグル・メグラス」の漢字表記 — 史的観点から —
我が国における漢語の意味の変遷について — 「愛敬」の場合 —
漢字字体についての一考察 — 『白氏文集』写本・版本を中心として —

上野 智子（方言学・現代日本語論）

【教員自己紹介】

- ・現在の研究テーマは, 日本語方言における重ねことばの研究（2009～）
- ・主な担当授業科目
〈専門教育〉現代日本語論基礎演習・現代日本語論演習・地域調査実習・日本語学概論
〈共通教育〉小さな地名の調べかた

【卒業論文題目例】

- ・愛媛県宇和島市方言における感動表現―「形容詞・形容動詞の語幹＋ヤ」について―
- ・兵庫県南東部方言における「テ」「テヤ」「チャッタ」「タッタ」
- ・四国方言における「～もあれ」表現について
- ・島根・鳥取県境周辺にみられる新方言「～へん」
- ・方言オノマトペの共通性と独自性―宮城県遠田郡旧小牛田町と高知県安芸郡奈半利町の比較―
- ・山形県酒田市飛島の屋号と屋号唄
- ・山口市光市方言における文末詞「イ」と「チャ」
- ・高知県方言における「たいそう」の意味の程度副詞
- ・熊本県宇城市方言の主格助詞「ノ」と「ガ」
- ・岡山県倉敷市方言の程度副詞「ボッケー」「デーレー」「ボーレー」
- ・徳島市方言における文末詞「デ」と「エ」
- ・高知市とその周辺域方言におけるジャロ(一)・ヤロ(一)

【地域調査実習の実践例】

- ・高知県奈半利町(2004)・高知県鶴来島(2005)・高知県梶原町(2006)
- ・徳島県西祖谷山村(2007)・愛媛県久万高原町(2008)・高知県東洋町甲浦(2009)
- ・高知県大川村(2010)・徳島県那賀町旧木沢村(2011)・広島県因島市(2012)
- ・高知県大月町(2013)・高知県の町本川(2014)・高知県黒潮町拳ノ川(2015)



〈写真：2015年6月20～21日高知県黒潮町拳ノ川〉

《地域調査実習の目的》

個別または共同のテーマを設定し、調査の内容・方法など事前準備を行ったあと、1～2泊を伴う現地で実地調査を体験し、教室に帰ってから調査結果を報告書にまとめる。一連の作業を通して、地域調査・方言調査の方法と一人で調査が行えるようなスキルを身につける。同時に、地域を肌で感じ自分の足で歩くことによって、地域の理解とそこに生活する人々との心の交流を深める。

英米文学プログラム

【プログラムの概要】

英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語、文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的にとらえることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。

【学べる専門領域】

イギリス文学～イギリスやアイルランドの小説、詩、戯曲を学びます。

アメリカ文学～アメリカ文学の作品を様々な角度から分析します。

映像メディア論～ハリウッド映画文法や映画史を中心に学びます。

言語意味論～英語を中心として、言語のさまざまな意味的側面について学びます。

言語文法論～英語を中心として、文の形と意味の関係を学びます。

宗^{そう} 洋^{ひろし}（イギリス文学・映像メディア）

【教員自己紹介】

イギリス文学

おもに19世紀末から20世紀前半のイギリス文学を研究しています。現在の関心はモダニズムと窓、20世紀初頭の自己管理の言説、複製技術と植民地、児童文学における禁忌と「欲望の三角形」などについてです。映像メディアに関しては翻訳をとおして海外の理論を紹介したり、写真やアニメーションについての論文を書いたりしています。

好きな映画監督：デイヴィッド・リンチ、ヴィクトル・エリセ、フランク・キャブラ、クリント・イーストウッド、山中貞雄他。

好きな写真家：アンリ・カルティエ＝ブレッソン、ブラッサイ、アジェ、ラルフ・ギブソン他

【主な授業と内容紹介】

英語圏文化論

- ① ヴィクトリア朝からモダニズム期にかけてのイギリス文学・文化についての講義です。おもに女性表象、階級問題、都市化、帝国主義と植民地などについて論じます。
- ② 美術史の枠組を借りながら講義する英文学史の授業です。単なる暗記ものとしての文学史ではなく、ダイナミックな文化の潮流の中に個々の作品を位置づけることを主眼としています。

映像メディア論

ハリウッド映画文法の基礎と映画文法の諸問題を講義します。学生が書いたシナリオの発表と分析もおこなっています。

イギリス文学論

他大学から講師を招き、イギリス文学・文化についての講義をして頂きます。

【卒業論文題目例】

Peter Pan におけるネバーランドの現実性

A Christmas Carol におけるエンターテインメント性

Winnie-the-Pooh と *The House at Pooh Corner* における森と性表象の関係

The Matrix Trilogy における見せかけのリアル

藤吉 清次郎（アメリカ文学）

【教員自己紹介】

19世紀アメリカ小説、特にアメリカン・ルネッサンス期の作家たちの小説を研究しています。現在は、小説の登場人物の主体（内面）形成に時代の言説がどのような影響を及ぼしているかを検証しています。時代の言説とは政治、宗教、人種、民族、科学、思想などの問題が複雑に絡み合ってきた「時の権力」のことです。アメリカはご存じのとおり、様々な人種・民族・文化が流入した移民国家ですので、文学の領域でも、アフリカ系、アジア系、ユダヤ系などの作家たちがそれぞれの文化を背景にして主体の問題を描き出しています。アメリカ文学においてほど「主体の在り方」が問題とされるところはないかもしれませんが、その意味でアメリカ文学は「自分って何者なんだろう」という疑問を抱いている人におすすめることができるかもしれません。授業では、科学が高度に発達した現代においても、なぜ文学という虚構（フィクション）が無くならないのだろう、ということをメタ的に問いつつ、人間と文学（物語）の在り方を考えていきます。学生みなさんにはアメリカの代表的な作品に触れながら、文学を研究することの愉しさを味わい、その過程で方法論意識を高め、ぜひ自らの知的枠組を拡充してもらいたいと思います。

【主な授業題目と内容紹介】

「アメリカ文学概論」

様々な文学作品の抜粋を読みながら、アメリカ文学の特質を考えていきます。

ジェンダー、階級、人種、宗教、政治、思想など様々な観点から、文学作品の有する可能性を探ります。授業では、アメリカ文化・社会・歴史が鮮明にわかるように映画などの映像資料も取り入れます。

「アメリカ文学演習」

アメリカの代表的な文学作品を細かく読み、その上でその作品の先行研究を検討します。授業の主な目標は、アメリカ文学作品の分析を通じて物事を論理的に考え、自分の主張を他の人にわかりやすく展開できる力を養成することです。

「大学英語入門」

英語読解力の養成を目指します。その際、英文法の基礎事項を復習すると同時に、英語の発音（リズム、イントネーションなど）への理解も深めます。

【卒業論文題目例】

児童文学としての『ハックルベリィ・フィンの冒険』

女性の生き方をめぐって－『若草物語』と『目覚め』

映像作品と文学作品－『エデンの東』

【教員自己紹介】

言語文法論

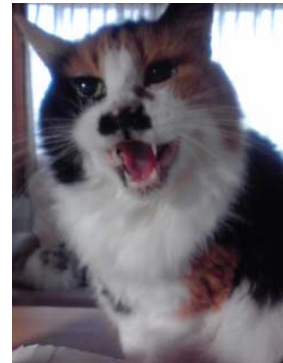
ことばの形式と意味の関係に興味があります。

たとえば、「原稿を読まれた」～「原稿を読ませた」～「原稿を読んでもらった」・・・同じ出来事ですが、話し手の捉え方はずいぶんと違うみたいですね。

もともと英語学の出身なので、英語の受動文や使役文の研究を中心にしています。このごろ面白いなと思っているのは、同じ構文が受身の意味と使役の意味を表すことがあるということです。どうして一つの構文がいろいろな意味を表すようになったんだろうって不思議に思ったのです。

ところで、ことばの雑学も好きですよ。このあいだ、高知の人は何かを選ぶとき「どれにしようかな、うらのごんべえさんにきいたらわかるぞね。たいこたたいてどんどこしょのしょ」と歌う（人もいる）ということを知りました。他の地域ではだいたい「かみさま」に聞くのに！ユニークですね。

趣味は猫の観察、猫語の翻訳っていうか「あてレコ」。
これは、飼い主を本気で脅迫しているときのお顔です→→→
おやつを強奪しようとしているのですo(´・д・´)o



【主な授業と内容紹介】

言語文法論

英語と日本語のさまざまな構文の意味や機能について講義します。

言語文法論演習

英語と日本語を題材にして認知言語学の基礎を学びます。

言語文法論基礎演習

英語と日本語を題材にして、理論的な文法研究の考え方を学びます。

英語史概論

現代の英語を形作ってきた外面史（社会や文化の歴史）と内面史（語彙や発音や文法の変化）を学びます。

【卒業論文題目例】

疑問文の機能について—メンマ好きですか？—

名詞から動詞を造る「ル」ことばについて

若者言葉のポライトネス

ネットスラングを考える